

シラバス

2025 年度

ファインアート科版画専攻2年

学校法人高澤学園 美術造形専門学校

創形美術学校

ファインアート科／ビジュアルデザイン科／研究科

ファインアート科版画専攻

シラバス

■ファインアート科版画専攻2年 単位表

		成績項目	授業名	単位
前期	必修	素描Ⅱ 7u	ドローイング(版画)	1
			イラストレーション A	2
			リトグラフ	3
			石版画	1
	必修	素材研究Ⅱ 10u	シルクスクリーン	2
			木版画	3
			木口木版	2
			銅版画	3
学科	PM		版画講座	0.5

小計

17.5

		成績項目	授業名	単位
後期	必修	技法演習Ⅱ 6u	銅版直刻	2
			イラストレーション B	2
			リソグラフ	2
	必修	主題表現演習Ⅱ 5u	詩と表現	1
			製本実習	2
			技法と表現1	2
		表現基礎演習Ⅱ	技法と表現2	7
学科	必修		版画概論	0.5

小計

18.5

合計

36

ファインアート科版画専攻 2 年

【前期時間割】

	1限	2限	3限	4限
月	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム
火	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム
水	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム
木	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム
金	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム
土	—	版画講座	—	—

【後期時間割】

	1 限	2 限	3 限	4 限
月	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム
火	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム
水	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム
木	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム
金	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム	実技カリキュラム
土	実技カリキュラム	実技カリキュラム	—	—

学科科目：前期学科授業名：「版画講座」 担当教員：今井圭介

授業期間：2025 年 4 月 12 日(土) - 7 月 5 日(土)

授業時間：11：00-12：30

修得単位：0.5 単位

学習目標：「版画」という言葉は明治の終わり頃につくられた造語です。それは版がもつ独自の表現による、版からこそ創出される画（え）ということを強く意識して生み出されたものでした。そうした版画についてルーツをたどったり実物や資料、画像をみたりしながら、より一層に理解を深めていくことを目標にします。

授業内容：版画の用語や技法についての解説からはじめ、浮世絵版画や日本の近・現代版画の紹介を実際の作品や資料、画像使ってわかりやすくみていきます。

学科科目：後期学科授業名：「版画概論」 担当教員：植田爽介

授業期間：2025/10/09(木) - 2025/10/30(木)

授業時間：11：00-12：30

修得単位：0.5 単位

学習目標：この授業では現代版画とは何かを考えることを目標とします。現代版画や現代美術について多くの作品を鑑賞し、様々な作品が持つ魅力やコンセプトを知って行きます。それら作品の変遷、現代美術史に理解を深めることから個々の制作の可能性を拓けることを目標とします。

授業内容：現代美術作品、現代版画作品の鑑賞。ポップアート以降、現在に至るまでの様々な作品の鑑賞を通してその作品の魅力とコンセプトの研究を行い、現代版表現を考える。自身の作品をより理解し、制作の可能性を拓けることを目的に、個々の作品のプレゼンテーションを行う。

学科科目：前期実技授業名：「ドローイング」 担当教員：鈴木吐志哉

授業期間：2025 年 4 月 9 日(水)–4 月 16 日(水)

授業時間：9：20–12：30／13：30–16：30

修得単位：1 単位

学習目標：版画制作から離れ、ドローイング制作に集中する時間とする。版画の技法に制約されることなく、様々な支持体や素材を試す事で多角的に各自の表現を研究する。

授業内容：サイズ・支持体・素材・枚数・他。各自の判断で選択して制作。版表現から一旦離れ、自由な表現を繰り返す中から自分の作品について考える授業である。今回は特に多くの枚数をこなすことで、失敗を恐れずに制作する楽しみを存分に意識する期間とする。

実技科目：前期実技授業名：「イラストレーション A」 担当教員：須田浩介

授業期間：2025 年 4 月 17 日(木)–4 月 25 日(金)

授業時間：9：20–12：30／13：30–16：30

修得単位：2 単位

学習目標：イラストレーターがクライアントワークで行うアイディア出しラフの提出などのプロセスを活かし制作に取り組みアーティストとしてもイラストレーターとしても必要なコンセプトと作品表現とを繋げる力を伸ばす。アナログ画材を使用し与えられた枠組みの中で作品を制作する上で個々の持つ個性や表現を活かしながらより魅力的な作品表現となる様に作品を描く上でのコンセプトと「何故」をよく考えながら表現に繋げ自分の表現や世界観をブランディングしていく為の授業です。

授業内容：4 枚の作品を描く。描くテーマは各自で決めて良いです。自分なりに表現のフォーマットを考えてから描く。

描くもののテーマ、コンセプト、発表する際のブランディングを意識する。

テーマ例、四季、トランプ、方角、喜怒哀楽、etc

分かりやすいので 4 にまつわるものを例に出しましたが別にそこはそんなに意識しなくても良いです。自分の

好きな物事などに絡めて自分の表現の枠で 4 枚描く。

実技科目：前期実技授業名：「リトグラフ」 担当教員：中村真理

授業期間：2025 年 5 月 7 日(水)–5 月 27 日(火)

授業時間：9：20–12：30／13：30–16：30

修得単位：3 単位

学習目標：講義、実習を通してリトグラフの製版方法や刷りの行程を学び理解を深め、リトグラフの特性を活かした制作を行う。

授業内容：リトグラフの特性を利用し、個々の表現したいテーマに基づき制作する。4 版種の中でリトグラフの版作りは彫るのではなく「描く」という行為に最も近い版、ドローイングの様に手を動かして版づくりを行い自分自身で体験しながらリトグラフの仕組みを学んでいく。

実技科目：前期実技授業名：「石版画」 担当教員：板津悟

授業期間：2025 年 5 月 28 日(水)–6 月 3 日(火)

授業時間：9：20–12：30／13：30–16：30

修得単位：1 単位

学習目標：講義、実習を通して石版画の歴史や技術を学び、平版の仕組みを体感しながら石版石の特徴を活かした制作を行う。

授業内容：石版石を版材として使える様な状態にするまでの作業工程も含めて、素材との対話を大切にしながら個々の表現を考える。作品はモノトーンとし、一つ一つの行程を把握する。

実技科目：前期実技授業名：「シルクスクリーン」 担当教員：東樋口徹

授業期間：2025 年 6 月 4 日(水)-6 月 20 日(金)

授業時間：9：20-12：30／13：30-16：30

修得単位：2 単位

学習目標：シルクスクリーン版画制作を通して孔版画の専門的知識を習得し、自己表現に結びつくよう学習します。基本の直接製版方法を重ねて実習し、環境にやさしい水性インクを使用して刷紙に刷ります。PC を使用した 4 色分解による 4 版 4 色の作品（18×25cm 位）を 1 点、5 版以上を使った作品（25×38cm 位）を 1 点制作、色を刷り重ねる時の表現効果、用具資材の正しい使い方、手順を覚え多彩な効果を会得していきます。

授業内容：基本的な水性インクで紙に刷る 4 版 4 色を使った作品（A4／21cm×29.7cm）を一点（紙4枚程度）、5 版以上を使った作品（A3／29.7cm×42cm）を一点（紙8枚程度）制作。

実技科目：前期実技授業名：「木版画」 担当教員：鈴木吐志哉

授業期間：2025 年 6 月 23 日(月)-7 月 12 日(土)

授業時間：9：20-12：30／13：30-16：30

修得単位：3 単位

学習目標：水性多色木版画作品制作および基本技術と技法の展開。

授業内容：1 年次の「専攻別ワークショップ（版画専攻）」で体験した油性木版画 1 版単色をこの授業ではさらに水性多色木版画に展開していくことで、木版画技法の充実と色彩について研究します。水性多色木版画の技法は浮世絵に見られるように日本独自の進化を遂げた技法でもあります。古来からの技法と現代の技法を駆使して自由な発想で制作してもらいます。

・版木サイズ 300×225mm（4～5 版多色）

実技科目：前期実技授業名：「木口木版画」 担当教員：長嶋一孝

授業期間：2025 年 9 月 1 日(月)–9 月 9 日(火)

授業時間：9：20–12：30／13：30–16：30

修得単位：2 単位

学習目標：木口木版画は、18 世紀頃ヨーロッパで完成された木版画の技法である。柘植、椿等の堅牢な木材の木口の面を、ビュランという彫刻刀で彫り進んでいく木口木版画の技法は、白と黒との精緻な表現に適している。本実習では、版画の技法の中でもとりわけ単純で明快な、彫って摺るという行為に重点を置く。原初的な彫版の作業の中で制作者は自分自身の素直な表象と出会う実習である。

授業内容：テーマ＝自由制作

実技科目：前期実技授業名：「銅版画」 担当教員：馬場知子

授業期間：2025 年 9 月 16 日(火)–10 月 7 日(火)

授業時間：9：20–12：30／13：30–16：30

修得単位：3 単位

学習目標：銅版画の制作プロセスを修得し、作品を完成させます。銅版画には様々な技法がありますが、エッチングを中心に物質の変容と結びついた腐食技法の多様な表現に触れます。版を媒介することで生じる他者性を柔軟に取り入れながら自分の表現の世界を広げましょう。

授業内容：まずテストプレートで様々なマチエール表現を試しながら「道具、薬品の使い方」「描画」「製版」「刷り」の作業工程を理解し体得していきます。本作では自分のイメージの具現化に必要な表現や技法を選択し制作します。
(わからないことはなんでも聞いてください。安全に楽しく制作しましょう)

実技科目：後期実技授業名：「銅版直刻」 担当教員：馬場知子

授業期間：2025 年 10 月 9 日(木)–10 月 20 日(月)

授業時間：9：20–12：30／13：30–16：30

修得単位：2 単位

学習目標：腐食法銅版画とは異なり、ダイレクトに銅板を彫っていく、この技法ならではの醍醐味と、そのことによって現れる瑞々しく暖かい線描の魅力や深い黒色の美しさを制作を通して体験し自己の表現として会得していってもらふ。

授業内容：「人間像」というテーマでモノクロ直刻法銅版画を 1 点制作する（但し「自画像」は特別な意味を持つので不可）。家族、友人、など身近な人物、都会を行き交う人たち、イメージの中の想像上の人物、etc. 広い意味での‘人間’というものをとらえてください。雑誌や写真などの人物からの転用もよいが、その場合、絵の中で構成し直すこと。

実技科目：後期実技授業名：「イラストレーション B」 担当教員：今野樹里恵

授業期間：2025 年 10 月 21 日(火)–11 月 1 日(土)

授業時間：9：20–12：30／13：30–16：30

修得単位：2 単位

学習目標：テーマに基づくイラストレーション制作を修得します。一つの世界観で一連の作品を制作すること、自分の内面を表現するだけでなく外的要因（文学）に応じて制作をすることで、既存の表現に囚われずに新しい自分だけの表現を目指します。

授業内容：文学にまつわる挿絵を連作（サイズに応じて 3～5 カット）で制作する。装丁や挿絵などで既存イメージができている文学を、自分だけの表現方法で再構成すること。更に連作で制作することによって世界観を確固たるものとして表現することを学ぶ。

実技科目：後期実技授業名：「リソグラフ」 担当教員：尾形愛

授業期間：2025 年 11 月 3 日(月)–11 月 15 日(土)

授業時間：9：20–12：30／13：30–16：30

修得単位：2 単位

学習目標：リソグラフ印刷機の使用方法的習得を通して作品制作に応用し、自身の制作方法の幅を広げることを模索する。

授業内容：リソグラフ印刷機の使用方法的をすべての工程で実践していく。

実技科目：後期実技授業名：「詩と表現」 担当教員：田野倉康一

授業期間：2025 年 11 月 5 日(水)–2026 年 2 月 18 日(水)

授業時間：11：00–12：30

修得単位：1 単位

学習目標：今回は実技を中心に考えています。やってみるとわかりますが、詩は美術に近い。日常言語の呪縛を破って、言葉でも自分の世界を作って未知の領域に足を踏み入れてみましょう。

授業内容：受講者がそれぞれに詩に触れ、受容し、詩作することを通して、他人の言葉に左右されことなく、ファインアートやデザインの実践の中で言葉とうまく付き合っていけるようになること。

実技科目：後期実技授業名：「製本実習」 担当教員：山口茉莉

授業期間：2025 年 11 月 17 日(月)–11 月 29 日(土)

授業時間：9：20–12：30／13：30–16：30

修得単位：2 単位

学習目標：簡易なノート制作と、自分だけの上製本を制作します。本の構造を知らながら、紙の特性や道具の使い方の理解を深めつつ、各自のポートフォリオや絵本制作に生かしていくことができる基礎を築くことを目指します。

授業内容：本の造り、紙の持つ性質を学び、実際に製本する過程を通して「本」そのものの価値を考えます。

実技科目：後期実技授業名：「技法と表現 A」

担当教員：馬場知子、中村真理、東樋口徹、鈴木吐志哉

授業期間：2025 年 12 月 1 日(月)–12 月 13 日(土)

授業時間：9：20–12：30／13：30–16：30

修得単位：2 単位

学習目標：基本 4 版種から各自が選択した技法による制作。エディション刷り体験

授業内容：4 版種（シルクスクリーン、銅版画、リトグラフ、木版画）から各自で技法を選択し、画材の購入の仕方、取り扱い等を学びながら小作品のエディション刷りを体験し、版画集へと展開させます。

- ・エディションへの挑戦（10 部程度）
- ・紙サイズ A4（イメージサイズは自由）

実技科目：後期実技授業名：「技法と表現 B」

担当教員：馬場知子、中村真理、東樋口徹、鈴木吐志哉

授業期間：2026 年 1 月 7 日(水)-2 月 27 日(金)

授業時間：9：20-12：30／13：30-16：30

修得単位：2 単位

学習目標：基本 4 版種から各自が選択した技法による制作。エディション刷り体験

授業内容：4 版種（シルクスクリーン、銅版画、リトグラフ、木版画）から各自で技法を選択し、画材の購入の仕方、取り扱い等を学びながら小作品のエディション刷りを体験し、版画集へと展開させます。

- ・エディションへの挑戦（10 部程度）
- ・紙サイズ A4 （イメージサイズは自由）

学校法人高澤学園

創形美術学校

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-31-2

TEL 03-3986-1981 FAX 03-3986-1982

URL <https://www.sokei.ac.jp/>

E-mail: sokei@sokei.ac.jp